

特別支援教育コーディネーター部会の 実践事例 ～支援ツールの共同制作～

< 実践内容 >

B町の特別支援教育コーディネーター部会の実践事例を紹介します。

8月の研修会では、部会の組織力を生かして、「支援ツールの共同制作」をしました。コーディネーター10数名の手で、授業で使う支援ツールを制作しました。

< 実践の様子 >

制作したのは、黒板に貼って視覚的支援として使う「いま」「ここ」のフダと、授業で児童に見通しをもたせる「1時間の見通し表」です。作業を分担し、効率的に制作を進めました。



< 実践の効果 >

多人数で共同して制作したことで、短時間で効率的に制作できました。

特定の学校だけでなく、町内のすべての学校に支援ツールを配布できました。

「各学校で、職員作業として共同制作を位置付ける」という発想を得ることができました。